

マッハワン フリップダウンモニター取付キット 取扱説明書

この度は、「マッハワンフリップダウンモニター取付キット」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用・取付の前に、この取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使い・取付ください。
お読みになられましたら、必ず保管してください。
取付される方が、ご本人様以外の場合は、必ずご本人様にこの本紙を熟読頂き、
本件(下記内容)をご理解の上、取付をお願いいたします。

取付にあたってのご注意点です。必ずお守りください。

⚠警告

- 本製品は、指定のモニター以外を装着したり、指定以外の車両に装着することはおやめください。事故・破損の原因になります。
- 改造・加工をしないで下さい。事故・破損の原因になります。
- ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところでの保管をお願いします。
- 上記に関して事故等が発生いたしましても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

⚠注意

- 説明書に従い正しく取付して下さい。取付を誤ると、車両の故障や、破損をまねく恐れがあります。
- 付属の説明書はリアビジョン本体の固定方法、及びモニター用ルームランプ線の取付に関する説明書です。
- モニターの結線等につきましては、モニターの説明書にてご確認ください。
- しばらく走行した後に、各部のネジの緩みが無いか確認してください。事故・ケガ・故障の原因になります。
- この商品は天井内装部を加工します。取外し後は加工後が残ります。
- 取付には、工具と、専門技術、経験が必要になります。
不安な方は、プロショップ・専門店・お買上げ店に作業依頼頂く事をお勧めします。
- 穴あけ作業の伴う場合は、貫通した際に、他の場所に傷をつけないように十分注意してください。
- 説明書に従って、加工及び取付を行ってください。
説明書に指示を守らなかったことによる車両部品の破損・ケガ等に対しましては、
当店は一切の責任を負いませんのでご了承ください。



〒607-8031 京都市山科区四ノ宮鎌手町60-3

TEL:075-501-8050 FAX:075-501-8053

URL:<http://www.mach-1jp.com> MAIL:info@mach-1jp.com

KTA10-B3#-VB-R

三菱デリカミニ リアサーキュレーター付車 アルパインフリップダウンモニター 取付説明書

構成部品



ブラケットA



ブラケットB



ブラケットC



ブラケットD



M4X8皿ビス



大ワッシャー



ターンナット



M4X20 ワッシャー付き



M4X10 ボルト&ナット



延長ケーブル



ルームランプリレー

取付説明 下記写真で確認しながら作業を進めてください。

- (写真 1) リアサーキュレーターです。
- (写真 2) リアサーキュレーターのスイッチを外します。
- (写真 3) スイッチを外した周りを写真の寸法でカットします。カットサイズは横 220mmX 縦 110mmになります。
- (写真 4) 横 220mmX 縦 110mmでカットすると、天井内にブラケットが見えます。
- (写真 5) ブラケットを外します。車両側のスイッチコネクタに
- (写真 6) 延長ケーブルを接続します。
- (写真 7) 外したビスを使用して、ブラケットAを取付します。
- (写真 8) 写真を参考にブラケットBの裏側(穴がテーパになってない方)1カ所に大ワッシャーを貼り付けます。
- (写真 9) ブラケットAに、ブラケットBをM4X8皿ビス4本で固定します。ネジ穴がテーパになっている側から締め付けします。
- (写真 10) 次に、車両前方側の天井クリップを外し、
- (写真 11) 外した穴を8パイに広げます。
- (写真 12) その穴にターンナットを差し込みます。(別紙ターンナットの使用方法を参照ください)
- (写真 13) ブラケットCをM4X8皿ビスでブラケットBに固定します。
- (写真 14) 張り付けた大ワッシャーが外れていないか確認してください。
- (写真 15) 反対側をM4X20 ボルト&ワッシャーで、ターンナットに固定します。(別紙ターンナットの使用方法を参照ください)
- (写真 16) シェラウドスペーサーにブラケットDを取付します。
- (写真 17) ブラケットDの溶接してる方が左内側になります。
- (写真 18) M4X10 ボルトで固定しますが、最後まで締め込まず
- (写真 19) 裏側からM4 ナットの面にあわせて固定します。
- (写真 20) シェラウドスペーサーとブラケットDとの下部分は隙間が発生します。
- (写真 21) モールをスペーサーに取付します。U型モールの長い方を内側にして差し込みます。
- (写真 22) アールのきつい所はカットして切れ目を入れるときれいに仕上がります。
- (写真 23) スペーサーをモニターに挟み込んでモニター付属のボルト4本で取付します。(中央の1本は使用しません。)
モニターの取付説明書も必ず参照してください。
- (写真 24) リアサーキュレーターのスイッチの延長ケーブルを少し引き出し、
- (写真 25) それ以外のケーブル類が、リアサーキュレーターの吸入口に干渉しないよう、塞がないよう、確認・処理してください。
干渉したり、塞いでいる場合は、流速の乱れが発生しやすくなります。ご注意ください。
- (写真 26) スペーサーの左右隙間から配線などが見えていないか、処理できているか、確認してください。
- (写真 27) 延長ケーブルにリアサーキュレータースイッチを接続し、
- (写真 28) コネクタ側(スイッチの左側)から差し込むようにして右側クリップがはまるように取付します。
- (写真 29) 各部作動の確認をし作業終了です。
- (写真 30) リアサーキュレーターを作動させ、隙間に手などをかざして塞ぐと、流速がかなり乱れることが確認できると思います。
塞がなくても、使用環境、状況によって流速が乱れる場合があります。
乱れが気になる場合は、風量 1、もしくは 2 でご使用ください。
車両オーナーご本人様以外での取付の場合は、オーナー様へご説明をお願いします。

取付概要写真



写真 1



写真 2

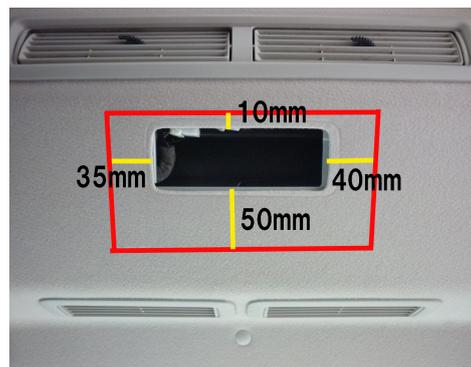


写真 3

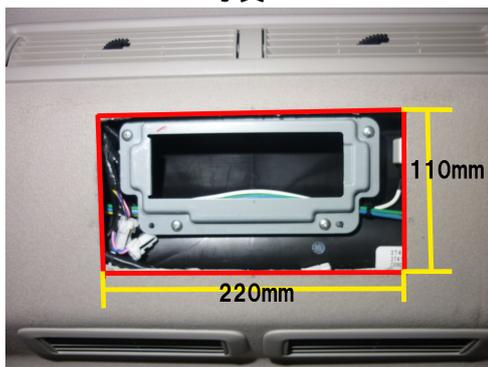


写真 4



写真 5

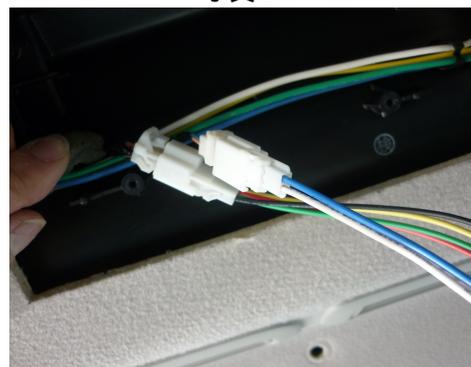


写真 6



写真 7

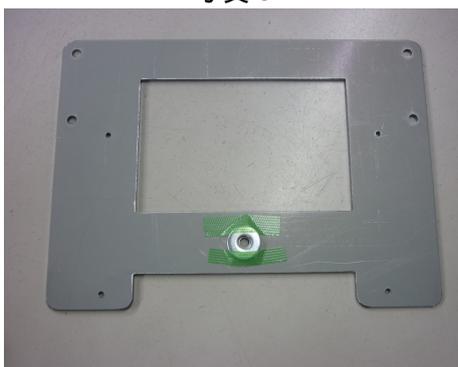


写真 8



写真 9



写真 10



写真 11



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15.



写真 16



写真 17



写真 18



写真 19



写真 20



写真 21



写真 22



写真 23



写真 24



写真 25



写真 26



写真 27



写真 28



写真 29



写真 30

LEDランプ付きモニター ルームランプリレーの接続

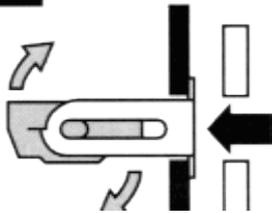
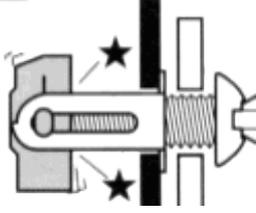
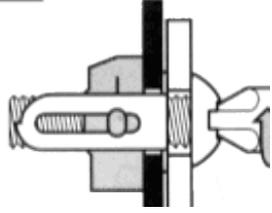
1. ルームランプリレーから出ているギボシ端子の付いていない方の線を車両へ接続します。

ルームランプリレー 黄(3m)	→ 車両側(オーディオ用常時電源)	オーディオ裏電源コネクター	
ルームランプリレー 赤(30cm)	→ 車両側(ルームランプ用常時電源)	フロントルームランプ裏コネクター	茶色
ルームランプリレー 緑(30cm)	→ 車両側(ドアコントロール線)	フロントルームランプ裏コネクター	白色
ルームランプリレー 黒(30cm)	→ 車両側(アース)	フロントルームランプ裏コネクター	黒色

年式・グレードによって車両ハーネス線の色が異なる場合がありますので必ずテスターで確認して下さい。
簡易作業用のタップを同梱させて頂いてますが、配線の太さ、作業不良により、接触不良など発生する場合がございます。「お互いの配線を露出させ巻きつける」「ハンダ接続する」などの作業をおすすめします。
この場合は配線ショートしないように必ずビニールテープなどで絶縁してください。

2. モニターのルームランプコードとルームランプリレーから出ているメス端子の付いてる方の線を接続します。
付属のオス端子を使用して接続してください。
モニターの機種によって緑線(ドアコントロール線)のみのモニターもございます。その場合は黄線・黒線は使用しません。

ターンナット使用方法

<p>1 ねじを軽く押す</p> 	<p>ターンナットを下穴に挿入した後、ねじを指で差し込みます。 ねじを軽く押すと、ナットが回転します</p>
<p>2 ねじを一旦逆転→</p> 	<p>ドライバーでねじを押しながら 1~2 回逆転させ(左回り)、そのまま 2~3 回正転させてねじを軽くねじ込みます</p>
<p>3 続けて締め付け、</p> 	<p>ねじがかみあったら、続けて締め付けます</p>